

令和3年度 垂見小学校学校経営全体構想

経営理念

- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた子どもの育成を目指す。
- 一人ひとりの子どもの良さを認め、伸ばし、自信を持たせていく教職員集団・学校づくりを目指す。
- 目標を共有し、協働して子どもを育てていくために、保護者・地域との一層の連携を目指す。

教育目標（長期的な目標）

共に学び、心豊かでたくましい子どもの育成

＜めざす学校像＞

- 主体的に学び、仲間と共に生き生きと活動する学校
- 一人ひとりを認め、伸ばし、自信を持たせる学校
- 保護者・地域と協働する学校

＜めざす児童像＞

- ① 粘り強く、意欲的に学習に取り組み、自分の考えを伝える子
- ② 寛容さを備え、友達を大切にし、寄り添いあって生活する子
- ③ 外遊びを好み、明るく、元気に目標に挑戦する子

＜児童の実態＞

- ① 学力や学習意欲の二極化・思考力に課題、考えを伝えきれない。
- ② コミュニケーション力に課題、人間関係がやや希薄、自尊感情が低い子が多い。
- ③ 外遊び児童の固定化、体力向上意識の格差、安全への意識が低い。

＜教育課題＞

- ① 教科の基礎基本の定着、思考力・表現力の育成、伝える力の向上
- ② コミュニケーション力の育成、人間関係づくり、自尊感情の高揚
- ③ 外遊びを好む児童を増やす、体力の向上、安全意識の向上

＜めざす教師像＞

- ① 自己研鑽に励み、学習指導力の向上に努める教師
- ② 子どものよさを認め、可能性を伸ばす教師
- ③ 学校経営に参画し、チーム力と組織マネジメントを発揮する教師

＜教職員の実態＞

- ① 研修意欲の高い教師は多いが、授業力に差がある。
- ② 児童理解力、生徒指導力をはじめとした学級経営力に差がある。
- ③ 経営参画意識や重点目標を意識した取組に差がある。

＜経営課題＞

- ① 基礎学力の定着と思考力・表現力の向上を目指す授業力の向上
- ② 児童理解を深め、良好な人間関係を育成する学級経営の充実
- ③ 学校経営参画力の向上と組織的取組の充実

【中期的な教育目標（3年間）で身に付けさせたい力】

「自分の考えを伝え合い、共に活動する子どもの育成」

- R3 自分の考えをつくり、その考えをしっかりと伝えることができる子ども
- R4 お互いの考えを伝え合い、自分の考えを広げ・深めることができる子ども
- R5 伝え合い、協働し合い、集団の質を高めることができる子ども

【中期的な経営戦略】

- ① 教育活動「基礎・基本の確実な定着、思考力・表現力の向上、よりよい人間関係の育成をねらいとする教育課程の編成・実施・評価及び管理の充実」
- ② 組織・運営「協働的な組織運営と危機管理の徹底、労働環境の改善」
- ③ 人材育成「授業力・学級経営力の向上、研修（事前研）の充実、OJTの取組」
- ④ CS推進に向けた条件整備、自尊感情の向上を図る環境の整備

【本年度の重点目標】

自分の考えをつくり、伝えることができる子どもの育成

【本年度経営の重点】

〔全職員ですべての子どもの教育に責任を持つ〕

《組織・運営》

- ① 協働体制の確立
 - ・教頭・主幹教諭のリーダーシップ、連絡調整による組織の効率化の発揮
 - ・「報告・連絡・相談」体制の確立と徹底（管理職へ）
 - ・2部会の機能化と組織的取組
- ② 危機管理の徹底
 - ・不祥事防止のための職員研修
 - ・いじめ、不登校への組織的対応
 - ・安全意識の向上と安全確保の徹底のための重点化
 - ・子どもの指導、保護者対応等についての週案への記録の蓄積
 - ・危機管理マニュアルの改善と訓練、安全教室等の効果的実施
- ③ 教職員の労働環境の改善
 - ・会議の内容や行事等の精選
 - ・学級事務等の時間確保のための週時程の工夫

《教育課程》

- ① 教育課程編成の基本方針（重点事項）
 - ・基礎・基本の確実な定着、わかる授業の推進
 - ・書く、伝える力の向上、道徳科の授業づくり等
- ② 教育課程の編成・実施・評価・管理の工夫
 - ・編成 道徳科、国語科、算数科への重点配当
体力、健康面の週時程内への適切な配置
コロナ禍での地域資源活用計画の工夫
 - ・実施 特別支援教育の個別計画作成と指導の工夫
計画的な学力補充、「書く」「話す」力向上
分かる授業作り、体力作り・健口教育推進
地域教育資源の効果的活用、ストレングスアプローチ、特別支援教育の計画の見直し、教材・成果物等の蓄積、共有化
 - ・評価 重点目標達成のための教師・児童の評価と
子どもへのフィードバック
 - ・改善 学力や生活面を目標値に照らして評価
重点目標評価を生かした指導内容等の改善
学力や生活面のデータからの指導改善
週案・授業研・教室訪問で量的、質的改善

《人材育成》

- ① 授業力の向上
 - ・研修の日常化に向けた校内研修の充実
 - ・基礎基本の確実な習得に向けた授業づくりの推進
 - ・思考場面の設定や表現力向上を重視した授業づくりの推進
- ② 学級経営力の向上
 - ・支持的風土づくりのための方策や生徒指導力向上のための相談体制の確立
 - ・人間関係づくり、自尊感情高揚のための方策についての情報交換の時間設定
 - ・学級経営案（自己評価表）によるPDCAサイクルの構築と活性化
- ③ OJT、OFF-JTの取組
 - ・対象教員への組織的な授業力・学級経営力の育成
 - ・センター、教育事務所研修の復命、サークルへの参加、教育論文応募等

《教育環境》

- 校舎内外の環境づくりにむけて
- ① 美しい環境のための整備
 - ・伝えることの良さ、よりよい人間関係作りの工夫が見える環境
 - ・読書への意欲化のための学校図書館内外の環境の工夫
 - ・保健衛生に対する意識向上のための保健室内外の環境の工夫
 - ・いつも整理整頓された教室、職員室のための職員の意識化

《連携》

- コミュニティースクール推進に向けて
- ① 開かれた学校づくりの充実
 - ・土曜授業（年2～3回）の実施
 - ・コロナ禍での外部人材やモノ・コトを活用した学習の検討
 - ・教育課程外での地域等との連携、協力（学童・運営協議会）
 - ・学校の魅力ある取組を伝える学校だよりの定期的な発行
- ② 幼保小中の連携した取組の実施
 - ・協働した学習（授業）や行事等の効果的取組の検討
 - ・家庭学習習慣の確実な形成（三橋中校区家庭学習のすすめ）

《評価等》

- ① 学校運営協議会での評価・改善
 - ・学校経営の説明と評価・改善
 - ・協働活動の推進と見直し
 - ・柳川スタンダードの実践化と評価
- ② 各種評価の充実
 - ・重点目標評価（教師・児童）の定期的な実施とPDCAサイクルの機能化
 - ・週案や自己評価表での評価・改善
 - ・児童への生活アンケートの実施と「見える化」したフィードバック